# 新春の箱根路を力走！！ 松原健太 選手

第８５回東京箱根間往復大学駅伝競走大会に、奥出雲町出身の松原健太選手（東京農業大学・１年）が出場しました。

松原選手は、各大学のスピードランナーが揃う第１区（21.4㎞）を力走し、トップから３６秒差、２３チーム中、区間１４位と堅実な走りでチームに貢献しました。

また、１月１８日には、広島県で開催された、第１４回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会にも、島根県チームの一員として出場しました。

松原選手の活躍は、奥出雲町の子供たちの大きな励み、目標となることでしょう。

今後の更なる飛躍を期待します。

## 樹木に親しみ、心豊かな子供たちに
# 高田小学校「樹木学習園」が完成

▲木の特徴などの説明を受けながら散策する児童ら

高田小学校で整備が進められていた、樹木学習園が完成し、十二月十八日、引渡式と竣工式が行われました。

式典には、全校児童十六人や地元関係者がテープカットで竣工を祝い、早速整備された学習園の歩き初めを行いました。

同校には、校舎東側の山林部に「学びの森」があり、入学時には、「わたしの木」と名付けて植樹を行い、世話するなど、理科教育や環境学習に取り組んでいます。

今回の整備は、樹木の特徴や役割を知り、森林や環境に対する理解を深めてほしいと島根県が日本宝くじ協会の助成を受けて整備し、「学びの森」の入口部分となる校庭の一部に砂利を敷き詰めた散策路を整備。

ゲッケイジュやメグスリノキなど六十四本が新たに植樹され、全体で百四十種類の樹木園となりました。

さらに、既にある観察路には丸太階段を敷設し、拡幅するなど一周四百㍍の周回コースとして再整備。

主要な樹木には、簡単な説明文を入れた植物名札を設置するなど、学習効果が一層高まりました。

門脇進校長は「木々に見えない命を吹き込めるよう、しっかりと学習園を活用してほしい」と児童たちに呼びかけました。

児童を代表して五年生の池尻藍音君が「これからも、勉強や遊びに使っていきたい」とお礼を述べました。

## スキーシーズン到来
# 三井野原スキー場開き

▲安全祈願祭の様子

十二月二十三日、三井野原スキー場で、スキー場開きがあり、岩田町長をはじめ雲南警察署、ＪＲ関係者、地元観光協会や民宿経営者など約三十人が出席し、シーズン中の安全を祈願しました。

当日は、約十五㌢の積雪があり、リフト稼働となる積雪三十㌢には少し及びませんでしたが、初日としては、三年ぶりの積雪となり、幸先の良いスタートとなりました。

神事の後には、もちつきのイベントもあり、つきたてのもちが参加者に振る舞われました。

三井野原観光協会の田尾清会長は「家族連れなど多くの人に利用してほしい」と挨拶がありました。

同スキー場は、ＪＲ三井野原駅や駐車場から歩いてすぐ滑ることができ、緩やかな見通しのよいゲレンデは、ファミリーに最適のコース。昨季からインターネットでゲレンデの積雪状況を確認することができるようになり、より便利になりました。

新町発足後、リフト料金は、近隣のスキー場に比べ割安な一日券（大人 一、五〇〇円・小中学生 八〇〇円）としており、今シーズンもたくさんのスキーヤーで賑わいます。



◆ご寄附ありがとうございました◆

# 「ふるさと納税」による寄附の状況をお知らせします

平成２０年５月、国の税制改正で「ふるさと納税制度」が創設されました。

奥出雲町では、昨年１２月末までに、この制度を活用して７名の方から総額１５４万円のご寄附をいただきました。深く感謝申し上げますとともに、ご寄附いただいた皆様を紹介します。

寄附金は、その目的を達成するために有効に活用させていただきます。

| お名前 | ご住所 | 寄附の種類 | 寄附金の使途 |
|---|---|---|---|
| 若槻　一夫　様 | 広島県広島市 | ふるさと応援 | 観光振興事業 |
| | | 福祉基金 | （福祉事業） |
| 吉川　弘仁　様 | 大阪府枚方市 | ふるさと応援 | 人口定住・結婚対策事業 |
| 大関美代子　様 | 東京都北区 | ふるさと応援 | 指定無し |
| 杠　文実雄　様 | 兵庫県明石市 | ふるさと応援 | 指定無し |
| 中西　柚香　様 | 広島県呉市 | 福祉基金 | （福祉事業） |
| 匿　名 | 県外 | ふるさと応援 | 指定無し |
| 匿　名 | 県内 | ふるさと応援 | 出産・子育て支援事業 |

※ここでは「ふるさと応援寄附」のほか、「福祉基金寄附」や「一般寄附」をいただいた方で、昨年ふるさと納税制度の適用を受けた方のみ掲載しています。

## みんなで人権について考えてみませんか…
# 「人権に関する標語」優秀作品決定

奥出雲町人権教育推進協議会では、今年も人権意識の高揚と啓発を図るため、町内の小・中学校、高校、一般の方を対象に、「人権に関する標語」を募集しました。

約千六百点の応募作品の中から、次の最優秀賞一点、優秀賞十四点のほか、優良賞二十九点が選ばれました。

**■最優秀賞■**

**○思いやる　言葉が心を　つなぎ合う**
佐藤綾香（仁多中・一年）

**■優秀賞■**

**○つないだ手　こころのなかも　あったかい**
前田美結（横田小・一年）

**○「だいじょうぶ」　心がぽかぽか　元気がでたよ**
高野彩香（三沢小・二年）

**○やさしさは　みんながもってる　たからもの**
内田綾華（布勢小・四年）

**○君のこと　ちゃんと見てるよ　近くから**
藤原純奈（阿井小・四年）

**○うれしいね　みんなのえがおが　そばにある**
若槻朱里（横田小・四年）

**○みんなのね　笑顔は全部たからもの**
佐藤　華（亀嵩小・五年）

**○「やめようよ」　その一言で　いじめゼロ**
糸原一輝（八川小・五年）

**○この町に　ふえるといいね　すてきな言葉**
山田奈帆（三沢小・六年）

**○気づこうよ　ちかくのなかまの　SOS!!**
川西香菜子（横田中・二年）

**○「ありがとう」　みんなの心の　愛言葉**
松﨑　歩（横田中・三年）

**○そのいじめ　見てるあなたも　共犯者**
内田真由（横田高・二年）

**○考えよう　あなたの言葉　その態度**
荒木朋美（横田高・三年）

**○ありがとう　あなたがくれた　思いやり**
福田真央（横田高・三年）

**○何気ない　その気配りに　みな笑顔**
門脇　進（一般・三成）

▲最優秀賞の佐藤綾香さん(仁多中)